

金沢学院大学・短期大学校歌

作詞 柳澤 良一
作曲 池辺晋一郎

一 青空に高くそびえる 学び舎は
若い力に 満ちあふれ
凛々しき姿 輝く瞳
明るい未来の 創造へ
大きく 大きく 羽ばたけ
ああ 金沢学院 金沢学院
我が母校
二 海山へ 四方に広がる 清鐘台
久遠の真理 追い究め
鍛えた身体 きらめく叡智
平和な世界の 創造へ
大きく 大きく 飛び出せ
ああ 金沢学院 金沢学院
我が母校
三 四季豊か 鳥の音響く 学園は
伝統長く 受け継いで
伸びゆく我ら みなぎる思い
夢ある文化の 創造へ
大きく 大きく 踏み出せ
ああ 金沢学院 金沢学院
我が母校

大学評価を1年前倒し

飛田理事長が年頭訓示



年頭のあいさつを行う飛田理事長
Ⅱ4号館講堂

学校法人金沢学院の平成十九年仕事始め式は一月五日、4号館講堂で行われ、飛田秀一理事長が教職員約二百五十人を前に年頭のあいさつをしました。

飛田理事長は、「大学全入時代」元年となる今年一年の基本方針と新しい施策を示し、大学評価を当初予定

より一カ年前倒しして十九年度に行うこと、四年制大学開学二十周年記念講演会を五月十八日に学内で行うこと、東高校の校舎改築に着手し、来年夏には第一期工事を完成させることなどを明らかにしました。

また、学園改革を継続していく理念として「改革には、新しいものを作りだす、前例と同じことをしない『創造』の努力が必要である」と強調しました。

新しい校歌が完成

学園創立60周年を記念し制作

学校法人金沢学院の平成十九年仕事始め式の席上で、学園創立六十周年を記念して制作を進めてきた新しい校歌が教職員に披露されました。

作詞は、旧の校歌の歌詞も手がけた本学の柳澤良一文学部長、作曲は石川県立音楽堂の音楽監督で、映画やドラマ、演劇関係の音楽、テーマ曲などで幅広く活躍する池辺晋一郎氏にお願いしました。

歌詞は三番まであり、創立六十周年を機に掲げた新しい教育理念である「創造」が盛り込まれたほか、自然が豊かでゆとりのあるキャンパス、はつらつとした学生の姿なども緩やかなテン

教育理念「創造」うたう

新しい校歌は今後、学内放送などで繰り返し流して学生に周知を図り、今年度の卒業式、新年度の入学式で歌われます。

ポのメロディーに合わせて歌い上げています。

世界学生柔道女子 個人・団体 山口選手が銅



金沢学院大学の山口麻梨菜選手(経営情報学部四年)は十一月十七日から韓国で行われた世界学生柔道選手権に出場し、女子52キロ級で3位に入り、銅メダルを獲得しました。

個人戦では2回戦でカナダの選手に敗れたものの、敗者復活戦で勝ち進み、3位決定戦ではドイツの選手に一本勝ちを収めました。

十二月二十二日に石田寛人学長に銅メダル獲得を報告に訪れた山口選手は「写真上」は「学生生活の最後に良い経験ができた。これをステップに、次ぎは上を狙っていきたい」と抱負を述べました。

初の全学共通アンケート

学院大 授業内容の改善図る

金沢学院大学は一月十一日から、全学共通の授業改善アンケートを実施します。

統一して、授業の内容や教授法について共通の設問項目としています。結果は、担当者にフィードバックし、改善すべき点の検討材料とします。二十九日まで。

本学Bチーム96位



第六十九回石川県耐寒継走選手権は一月一日、金沢城を周回する三・五キロのコースで行われ、金沢学院教職員Bチーム(望月弘、望月輝、望月ゆかり、高木雅博)が1時間4分51秒で96位、同Aチーム(坂井秀和、川畑松晴、島崎外志夫、細川亮弥)が1時間6分26秒で108位に入りました。

た。放射冷却現象で冷え込む中、多数の職員が応援に駆けつけ、声援を送りました。(写真左は選手と応援の皆さん)

一般入試など願書受付

金沢学院大学、金沢学院短期大学は一月五日から一般入試A日程と大学入試センター試験利用入試の出願を受け付けています。

一般入試Aの出願は一月二十四日までで、短大は一月三十一日に、大学は二月一日、二日(試験日自由選択)にそれぞれ試験を行います。センター試験利用入試は一月十九日までA日程、二月二十日までB日程、三月二十三日までC日程の出願を受け付けます。